

経営参謀の創り方

経営参謀を育成する方法

業務直結の学びで「社長の右腕」を育てるオンライン大学

不況に苦しむ企業が多い今、利益を上げている企業とそうでない企業の違いはどこにあるのか。その大きなカギは、やはり人材にあるようだ。不況の今こそ、新規事業などの新たな価値を会社に生み出す経営参謀の養成が急務である。そこで今回は、2010年春に開学したオンライン大学、ビジネス・ブレイクスルー大学(以下、BBT大学)を紹介したい。副学長の伊藤氏と学部事務局長の宇野氏に「経営参謀を育成する方法」を聞いた。

0から1を創り出す人材が必要

——不況の影響で多くの企業が成長の踊り場で停滞しています。現状を打破するために必要なことは何でしょうか。伊藤：多くの経営者が抱える悩みに、人材のミスマッチがあります。大学が輩出する学生と、企業が求める人材にギャップが生じている。その背景にはバブル崩壊以降、日本の経済情勢が大きく変動する一方で、大学教育は何も変わっていないことがあります。

いま企業に必要なのは、時代に敏感に適応しながら、優れた事業実行力を発揮する人材です。つまり、0から1を創り出すような経営参謀が必要なんです。

——しかし、中小・ベンチャー企業多くはそうした人材を育成するノウハウを持っていません。どうやって「新しい価値

BBT大学流

経営参謀を育成できる3つの根拠

1 企業の第一線で活躍する著名な教授陣

日本を代表する実務経験豊富なリーダーたちがビジネスに必要な不可欠なスキルや能力を伝授。大前研一学長を筆頭に、日本サン・マイクロシステムズなどを立ち上げた松本孝利氏、ベンチャーキャピタリストの門脇徹雄氏など、錚々たる顔ぶれが授業を行う。

2 いつでもどこでも学べる通学不要の学習形態

パソコンや「iPod touch」などで講義を視聴できるオンライン大学。遠隔教育による学習システム(エアキャンパス)やインターネット上の仮想教室(サイバークラブルーム)を構築している。多業種から集まった学生たちがテーマごとに議論しながら、課題解決に向けたプロセスを歩む。

3 業務に直結する実践的な講義の内容

オンラインでの議論をもとに企画書や提案書などの成果物を作成するアウトプット重視の授業。一流のコンサルタントが教員として指導し、企画書や提案書の作成をサポートしている。また、その成果物を受講生が勤務している会社で活用することができる。

BBT大学 学長・大前研一が考える 21世紀のリーダーに必要な“三種の神器”

3. 英語力とグローバルリーダーシップ力

これからの時代、グローバルの視点がないリーダーは生き残っていけない。

2. 問題解決力

問題を「思いつき」で解決してはいけない。どんな些細な問題も自ら頭で考え抜いて答えを出すべき。

1. 経営とIT分野の基礎力

やはり、基礎が大事。基礎を鍛えていないリーダーは脆い。またインプットばかりに気を取られてはいけない。基礎でもアウトプットを重視するべき。

価値を生み出す経営参謀を育成すればよいのですか？

伊藤：一般的な方法として、人材育成に資する教育機関や研修システムを利用することが挙げられます。ただ、ほとんどの教育機関が提供している研修には問題があります。たとえば一方通行的に知識を詰め込むだけの内容、実践を軽視した座学だけの授業など、肝心のスキルアップにつながらない問題点が数多くあるんです。

そこで本学では、事実に基づいた分析や現在進行形のケーススタディを行ったり、自分が経営層の立場になって経営判断をするなど、実行力を鍛える授業を展開しています。また、受講者が実際に勤務している会社の課題をテーマに企画書や提案書を作る業務直結の授業を行っています。だから、実践的な問題解決力が身につくわけです。

宇野：さらに、本学は教授陣のレベルが非常に高い。実際に企業の第一線で活躍する経験豊富なリーダーを揃えています。学長の大前研一を筆頭に、企業論の授業は日本サン・マイクロシステムズなどを立ち上げた松本孝利氏、ファイナンスの授業は日本で最も古いベンチャーキャピタリストの門脇徹雄氏など、著名な企業人や大学教授が名を連ねています。このような実践的な学びによって、経営参謀として業務に直結するスキルを身につけることができます。

ちなみに、本学の費用は年間約

80万円。社員が将来の経営幹部に育つことを考えると、決して高いコストではないと思います。

会社に勤務しながら受講できるオンライン大学

——BBT大学は経営学士の学位が取得できる日本初のオンライン大学だと聞きました。どのような方法で講義を受けるのですか。

宇野：講義はオンデマンドによる動画配信で視聴します。本学ではパソコンだけでなく、iPhoneやiPod touch、iPadでも受講できます。今後は、他のスマートフォンにも対応を予定しており、受講者は場所を問わず、空いた時間を有効に使って学べます。通勤中や昼休みなどのわずかな時間を利用して手軽に学習環境を作り出すことができます。

また教室内の議論は「AirCampus®」というサイバークラブルーム(インターネット上の掲示板のような機能)で意見を戦わせ、内容を深めていきます。

伊藤：インターネットによるこうした学びのシステムは、単に便利なだけではありません。教育のあり方そのものを大きく変える可能性を秘めています。私たちの理念は、オンライン大学を通じて世界で活躍できる経営人を育てること。世界標準のスキルを身につけ、企業の成長に結びつく経営参謀を輩出したいと考えています。

B: 株式会社ビジネス・ブレイクスルー

代表取締役社長 / 大前 研一
設立 / 1998年4月
資本金 / 14億7,752万円
事業内容 / 大学運営(文部科学省認可) / ビジネス・ブレイクスルー大学(経営学部)、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院(MBA)、インターネットや衛星放送を活用した遠隔型マネジメント教育
URL / <http://www.bbt757.com/>

BBT University ビジネス・ブレイクスルー大学

お問い合わせ・資料請求はコチラから
0120-970-021
(平日 9:30~21:00) (土日祝 10:00~18:00)

<http://bbt.ac/>

ビジネス・ブレイクスルー大学

学部事務局長

宇野 令一郎

うの れいいちろう

慶應義塾大学を卒業後、都市銀行、ベンチャーキャピタルを経て、2009年に株式会社ビジネス・ブレイクスルーに入社。現在は学部事務局長として、社会人向け高等教育ビジネスに取り組んでいる。熊本大学大学院教授システム学専攻修士、修士(教授システム学)。カナダのMcGill大学でMBA取得。

副学長・経営学部 教授

伊藤 泰史

いとう やすし

慶應義塾大学を卒業後、三菱電機株式会社に入社。1998年に株式会社ビジネス・ブレイクスルーの創業に参画し、独自の遠隔教育システム(特許取得)を設計・開発。その後、文部科学省認可のBBT大学院(経営学研究科)、BBT大学(経営学部)などを立ち上げる。現在は同社の代表取締役副社長であり、BBT大学の副学長でもある。

